



～新生栃木市10周年～ 栃木市10年間のあゆみ



- 平成29年(2017年)
 - ▼千塚産業団地の本格分譲を開始
 - ▼あったかとしぎ健康都市宣言
- 平成28年(2016年)
 - ▼栃木市入舟町移住体験施設「蔵の街やどかりの家」開設
 - ▼とちぎメディアカルセンターしもつが開院
 - ▼とち介が「ゆるキャラグランプリ2016」4位・ゆるキャラ「おちルドレン」グランプリ獲得
 - ▼「住みたい田舎」ベストランキング若者世代・子育て世代部門で全国1位
- 平成27年(2015年)
 - ▼まちの駅「コエド市場」開設
 - ▼関東・東北豪雨災害による被災「FMくらら857」開局
 - ▼栃木市制施行5周年記念式典市の木・花・鳥・歌の制定
 - ▼男女共同参画都市宣言
- 平成26年(2014年)
 - ▼新庁舎開庁
 - ▼新庁舎記念式典・とち介お披露目
 - ▼栃木市・旧岩舟町が合併
 - ▼栃木市・岩舟町合併記念式典
- 平成25年(2013年)
 - ▼栃木市総合計画策定
 - ▼一般社団法人とちぎメディアカルセンター設立
- 平成24年(2012年)
 - ▼非核平和都市宣言
 - ▼環境都市宣言
 - ▼栃木市自治基本条例制定
 - ▼渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地に登録
 - ▼嘉右衛門町地区が国の重伝建地区に選定
- 平成23年(2011年)
 - ▼栃木市・旧西方町が合併
 - ▼栃木市・西方町合併記念式典
 - ▼栃木消防本部・栃木市消防署発足
 - ▼ふれあいバス運行開始
- 平成22年(2010年)
 - ▼旧栃木市・旧大平町・旧藤岡町・旧都賀町が合併 新生栃木市誕生
 - ▼栃木市議会第1回定例会本会議(新生栃木市誕生後初の定例会)
 - ▼栃木市合併記念式典

10周年記念式典を行います

10月10日(土)に、栃木文化会館にて新生栃木市10周年記念式典を行います。なお、感染症感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となります。そのため、式典会場への入場は招待者のみとなりますが、後日、式典の様子をケーブルテレビ等にて放送します。

また、10月中は栃木駅から蔵の街大通りにフラッグを掲示するとともに、市内全駅や各庁舎等に花を飾り、10周年をお祝いします。是非ご覧ください。

問合せ 秘書課 ☎(21)2311

- 平成30年(2018年)
 - ▼栃木市万町移住体験施設「J.U.テラス蔵人館」開設
 - ▼渡良瀬遊水地ハートランド城開設
 - ▼くらのまち保育園開園
- 平成31年・令和元年(2019年)
 - ▼新元号「令和」記念春の陣
 - ▼令和元年東日本台風(台風19号)による被災
- 令和2年(2020年)
 - ▼栃木市北部健康福祉センター(愛称 ゆったりくな)開館
 - ▼キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)開館



新生栃木市10周年記念 とちぎの人形山車展示

10/10(土)・11(日) 10時～15時

新生栃木市10周年を祝い、栃木市が誇る江戸型人形山車を展示します。とちぎ山車会館前広場にて日替わりで3台の山車を展示するほか、泉町・嘉右衛門町・大町(10日のみ)の各町内の山車小屋前において山車を、倭町の旧金澤呉服店において獅子頭を展示します。展示場所を巡るクイズラリーも開催。山車を探しながらの散策をお楽しみください。

場所 とちぎ山車会館前広場(万町)他 主催 とちぎの山車祭り伝承会
 ※感染症の感染拡大の状況により、内容の変更や中止になる場合があります。

問合せ 観光振興課 ☎(21)2374 栃木市観光協会 ☎(25)2356

11月に開催を予定していた以下のイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。

- ・新生栃木市10周年記念とちぎ秋まつり【観光振興課 ☎(21)2374】
- ・おおひら産業祭【大平産業振興課 ☎(43)9212】
- ・ふじおか産業祭2020【藤岡産業振興課 ☎(62)0906】
- ・まるまるまるごとつがまつり2020【都賀産業振興課 ☎(29)1104】

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未来のために、私たちができること

私たちは平和で豊かな未来の実現のため、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

MARUWA JYUTAKU
(株)丸和住宅